

事務事業名		吉浜地区拠点センター管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																																		
政策体系	政策名	07 新たな時代を切り拓く行政経営の確立		事業期間																																			
	施策名	23 質の高い行財政運営の推進		区分																																			
	基本事業名	02 健全な財政運営の推進		単年度繰返																																			
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																																			
所属	部課名	総務部三陸支所		【開始年度】																																			
	課長名	佐藤 雅基		平成6 年度～																																			
	係名	吉浜地域振興出張所	電話	0192-45-2001																																			
	担当者	松川 貴善	内線	-																																			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																			
施設の維持管理及び各種団体や市民の学習・交流等の場としての施設貸出。①施設の利用申請受付・許可 ②施設使用料の徴収・収入事務 ③利用者(団体等)間の調整・連絡 ④利用環境の整備				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)		0	トータルコスト(A)+(B)			0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																																				
			都道府県支出金																																				
			地方債																																				
			その他																																				
		一般財源																																					
	事業費計(A)		0																																				
	人件費	正規職員従事人数																																					
延べ業務時間																																							
人件費計(B)			0																																				
トータルコスト(A)+(B)			0																																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動) 施設の維持管理、市民(地区民)への貸出。 女子トイレ改修、浄化槽排水・原水ポンプ交換、FFファンヒーターオイル配管修理、女子トイレ換気扇修理ほか	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>開放日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	ア	開放日数	日	イ			ウ		
名称		単位											
ア	開放日数	日											
イ													
ウ													
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 施設の維持管理、市民(地区民)への貸出。 集会室天井ルーバー修繕													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	カ	人口	人	キ			ク		
名称		単位											
カ	人口	人											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民が、安全で快適に学習活動や交流活動を行うことができる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>利用人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>施設設備不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>施設設備不具合対応率</td> <td>%</td> </tr> </table>	名称		単位	サ	利用人数	人	シ	施設設備不具合件数	件	ス	施設設備不具合対応率	%
名称		単位											
サ	利用人数	人											
シ	施設設備不具合件数	件											
ス	施設設備不具合対応率	%											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 財産を有効活用する。													

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	9	0	0	0
		都道府県支出金	千円		0	0	0	0	0	0
		地方債	千円		21,300	0	0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円		3,908	5,759	5,995	5,229	5,229	5,229
	事業費計(A)		千円		25,208	5,759	6,004	5,229	5,229	5,229
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		600	600	600	600	600	600
		人件費計(B)	千円		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		トータルコスト(A)+(B)		千円		27,608	8,159	8,404	7,629	7,629
⑤活動指標										
	ア	日		286	330	365	366	365	365	
	イ									
	ウ									
⑥対象指標										
	カ	人		34,796	33,948	33,238	33,534	33,529	33,527	
	キ									
	ク									
⑦成果指標										
	サ	人		2,233	4,704	4,674	5,760	4,836	4,056	
	シ	件		2	4	9	1	0	0	
	ス	%		100	100	100	100	-	-	

事務事業ID	1310	事務事業名	吉浜地区拠点センター管理運営事業
--------	------	-------	------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地区公民館が老朽化したため、地域住民のための新たな学習・交流活動の場として、三陸鉄道吉浜駅と併設した多目的集会施設を、平成6年に整備したことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	震災後は、地区民・地区団体に限らず利用者が増加した。平成27年度に被災した三陸公民館の供用開始により27年度は利用者が減少したが、28年度は増加に転じた。しかし、平成29年度をピークに年々減少傾向となり、更に、令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、約140日間休館したことなどにより、利用者数は大幅に減少した。令和3年度からは徐々にコロナ禍前の利用状況に回復してきている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館とした期間：R2.3.7～R2.5.31、R3.2.18～R3.3.7、R3.8.13～R3.9.16
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	子どもから高齢者まで、幅広い年代の住民を対象とする多種多様な催しや各種団体の会議等に利用されている。また吉浜駅に隣接している点も便利であるとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 学習や交流などの施設として安全で快適に利用され、財産の有効活用に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 吉浜地区拠点センターは地区公民館として位置づけられており、また施設内に市役所の出先機関である吉浜地域振興出張所が設置され、市職員が常駐していることから、市役所職員が施設管理を行うことが合理的であり、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 建築から28年以上経過し、施設の老朽化(屋根雨漏り)や設備・備品の老朽化(天井ルーバーの故障、浄化槽マンホールの腐食)が発生しており、緊急性の高い箇所からの修繕が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 地区民が施設を安全・快適に使用するには、適正な管理が必要であり廃止できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 事業費は光熱水費等の維持管理費用であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 施設管理業務のみを担当する職員は配置しておらず、吉浜地域振興出張所職員が管理業務を兼務しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 年間約4,000人の利用者があり、使用料を徴収していることから受益者負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	施設建築から29年以上が経過し、施設や備品が老朽化している箇所については、緊急度の高い箇所から逐次修繕を行っていく必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	地区住民のコミュニティの維持や災害時の避難所として必要な施設であり、当面は現状どおり施設利用の維持を図っていく必要があるが、効率的な行政運営を推進するため、今後、施設の指定管理の導入について検討を進めていく必要がある。